

まちづくりキャッチフレーズ **人と自然と文化がつくる「キラリと光る新中核都市」**



## 倉吉市制施行55周年記念式典

※詳細は、2～3ページをご覧ください。



倉吉市制55周年

～倉吉市は市制施行55周年を迎えました～

◀市制55周年記念ロゴマーク

ひらがなの「くらよし」と「55」を表す5つの頂点を持つ星で、きらめく55年間と、ともに手を携えて、輝かしい未来へ伸びゆく倉吉市民を表現しています。

### C O N T E N T S

- 市制施行55周年記念式典……………2～3
- インフォメーション・プラス……………4～7
- インフォメーション……………8～11
- あんしんファイル……………12～13
- 出かけてみよう……………14～15
- レッツ！介護予防！  
まちかどピンナップ……………16～17
- ハート・バリアフリー……………18
- 遙かな町へ/ソナ・チャン・イヤギ……………19
- 若者の定住化に向けて/人口……………20

# 倉吉市制施行55周年記念式典 を開催しました。

倉吉市は昭和28年10月に誕生し、今年には市制施行55周年にあたります。これを記念し、10月11日(土)に、市民をはじめ、農林水産大臣や県選出国會議員、県内市町村などからの来賓をお迎えし、約700人が参加して「市制施行55周年記念式典」を開催しました。記念式典は「元気！再発進くらよし」をテーマに、功労・善行表彰および感謝状が贈られた後、市の鳥「メジロ」の発表、倉吉市イメージソング「倉吉城下町」、また、「くらよし元気体操」の披露など、55周年を盛大にお祝いしました。式典に引き続き、記念イベントNHK公開セミナー「司馬遼太郎がみた『街道』と文化」が行われました。

会場の外では、倉吉市政に関する展示・PRコーナーや、特産品即売所が設けられ、訪れた市民や観光客から好評を得ていました。



おめでとうございます。

○このたび、功労表彰を受賞された宇山眞真さん(天神町)に、受賞の感想をうかがいました。



「今まで人権に関わる仕事をしてきました。今回の表彰は大変ありがたいと思っています。反面、やるべきことをやってきただけという思いがあるので大変恐縮しています。今後とも今の活動を続けて行きたいと思います」

55周年記念式典において、功労表彰、善行表彰、感謝状を56人が受賞されました。受賞された皆さん、おめでとうございます。

どんな人が表彰を受けるのですか？

市表彰条例に基づき市政の振興、市民福祉の増進などに貢献した人や団体を表彰しています。表彰の内容は次の2つがあります。

## 功労表彰

市の産業、文化などに関し、その振興、市民の福祉の増進などのため、特に功労が顕著。

## 善行表彰

市の産業、文化などに関し、その振興、市民の福祉の増進などのため、その業績が多大。



表彰並びに記念品贈呈の様子



## 多くの来賓に祝辞をいただきました

石破茂農林水産大臣、平井伸治鳥取県知事、山崎重孝総務省自治行政局地域自立応援課長、川上義博参議院議員、田村耕太郎参議院議員、鉄永幸紀鳥取県議会議長に祝辞をいただきました。



平井伸治鳥取県知事



総務省自治行政局  
山崎重孝地域自立応援課長

## 市の鳥「メジロ」を発表

市制施行55周年に当たり、緑豊かな風土と自然環境を大切にする心の象徴として、市の鳥を制定し、記念式典において発表しました。メジロが制定された理由は、①「姿、鳴き声がよく、古来より愛好されている」②「山地から市街地までの



### メジロ

広範囲で年間を通して見ることができ③「目の周りの白い輪から命名された鳥でわかりやすい」④「広葉樹林を生息地とし、虫を食べるなど緑の維持に貢献している」⑤「市の木「ツバキ」の花粉媒介でツバキの繁殖に役立っている」などです。

市の鳥の選定に当っては、皆さんに大変多くの投票をいただきました。ありがとうございました。

◎55周年記念イベントとして開催されましたNHK公開セミナー「司馬遼太郎が見た『街道』と文化」は平成20年11月7日(金)にNHK放送で放映されます。

## 披露ステージ

### 「倉吉城下町」

倉吉市在住の歌手麻土香さんによって、本市の情景を織り込んだ歌「倉吉城下町」ほか2曲が披露されました。

### 「くらよし元気体操」

「市民の健康づくりのきっかけになれば」と制作されたくらよし元気体操を、鳥取大学非常勤講師の加藤朋子さんと普及員の皆さんによって、Park(ペー)※1が歌う「元気出せよ」という曲に合わせて軽快に披露されました。



くらよし元気体操を披露する加藤さんと普及員の皆さん

(※1)Park(ペー)については、最終頁のキラリをご覧ください

## 倉吉市制55周年記念 “元気！再発進くらよし” 倉吉市政に関する展示・PRコーナー

倉吉市が歩んできた足跡を振り返り、「市政の姿」を皆さんに見ていただくため、未来中心アトリウムにおいて倉吉市政に関する展示・PRコーナーを設置しました。写真や展示物を利用し、8つのテーマで倉吉市政を紹介・PRしました。

今回、より多くの皆さんに本市施策の取り組みを知っていただくため、一部を除いて市役所で改めて展示します。

展示期間…11月6日(木)～12月5日(金)

展示場所…市役所本庁舎2階  
(市民課前・税務課前)



## 《新たな企業誘致が前進しました》

10月10日(金)、日圧スーパーテクノロジーズ株式会社の工場増設に伴う協定書の調印式を行いました。

※問合せ先：商工観光課雇用創出推進室(☎22-8129/☎22-8136)



▲調印式で強く握手をする平井知事、森宗代表取締役、長谷川市長(左から)

# 人と技術を 倉吉から 興じていってほしい。

(平井知事のあいさつから)

日本圧着端子製造株式会社(大阪市)のグループ企業である日圧スーパーテクノロジーズ株式会社西倉吉工場が、製造機能の強化を目的として工場の増設を行うことになり、これを支援する鳥取県および倉吉市との間で協定書の調印式が10月10日(金)に行われました。

日本圧着端子製造株式会社(JST)は、コネクタ、圧着端子などの製造メーカーとして、昭和32年に設立。現在では世界19か国に事業拠点をもち、同製品では国内だけでなく、世界でもトップクラスのシェアを誇ります。

倉吉市は日本圧着端子製造株式会社の創業の地であり、西倉吉工場には技術者研修センターが併設されるとともに、伊木には生産技術センターが設置されるなど、JSTグループにとって中核的な都市となっています。

今回の計画は、投資額約100億円、工場2棟分を増設するもので、自動車や携帯電話のコネクタの需要増加に対応するため、プレス、成形、組立、メッキ工程などのラインを増強する予定です。同社の試算では、1棟あたり30億円の売上増(出荷額増)が見込まれます。

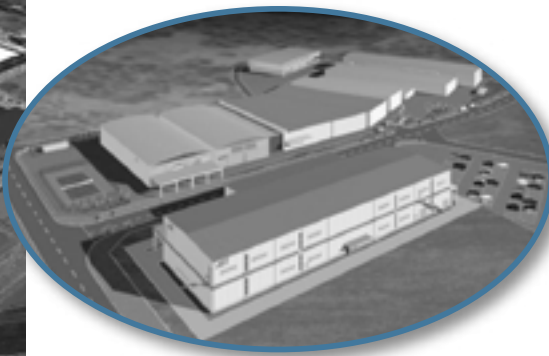
調印式に出席した森宗豊代表取締役は、「世界規模でナンバーワンを目指している。目先の経済状況ではなく、5年、10年先の将来を見据えた投資。世界で4兆円、国内で9,000億円と言われるコ

ネクタ市場の中で、より低価格、高性能な製品を提供することで市場拡大を図ってほしい」と力強く話しました。また、この工場増設に伴い、最終的には200人の新規雇用が見込まれています。森宗代表取締役は、「地元採用が

基本」としており、長谷川市長も「雇用の創出と拡大は、倉吉市の重点課題の『若者定住』に直接つながるものであり、精一杯の協力をした」と強い期待を述べました。平成22年4月に1棟目の操業開始を予定しています。



▲日圧スーパーテクノロジーズが製造するコネクタなど



◀▲増設予定地と完成予定図

## 《鳥取県国民保護訓練(中部地区)を実施します》

不測の事態に備え、訓練を行います。

※問合せ先：総務課(☎22-8162/☎22-1087)



平成16年に制定された国民保護法(略称)では、武力による攻撃を受けた場合、または大規模テロなどがあった事態において、国民の生命・身体・財産を保護するため、武力攻撃災害への対処や救援措置を行うことを定めています。

この法律に基づき、テロなどから県民を保護するための対処能力の向上と国民保護に対する理解の促進を図ることを目的として、鳥取県および中部市町主催で「平成20年度鳥取県国民保護訓練(中部地区)」を実施します。

この訓練は、国との共同による実動訓練で、化学剤を用いたテロなどにより、多数の住民が避難しなければならぬとの想定のもと、住民の避難誘導に焦点をあてた訓練です。

訓練実施にあたっては、テロだけでなく自然災害への対応などにも有用な実践的訓練を目指しています。

と き：11月16日(日)午前8時30分～午後2時  
と ころ：【避難誘導訓練】上灘地区全域、成徳地区全域ほか

### ＜倉吉市の訓練会場・訓練内容＞

#### ◎緊急処理事態本部設置運営訓練

政府現地対策本部、合同対策協議会室  
県中部総合事務所1号館A棟2階講堂  
県現地対策本部設置運営訓練会場  
県中部総合事務所1号館B棟2階会議室

#### ◎市対策本部設置運営訓練会場

市役所本庁舎第1会議室

- ・テロ事案の初動活動に係る手続きの確認
- ・市対策本部設置に係る業務手続きの確認
- ・情報連絡・収集・提供
- ・緊急対処保護措置の検討手続き確認
- ・会議の運営

#### ◎避難誘導訓練

【一次集合場所】

上灘地区：倉吉東高等学校  
成徳地区：東中学校、成徳小学校  
ほかの地区：倉吉ほっとプラザ

- ・防災行政無線による避難指示
- ・一次集合場所まで避難誘導による住民避難

#### ◎緊急対処訓練

東巖城町河川敷スポーツ広場ほか

- ・現場上空からの偵察、現状確認
- ・応援部隊などの要請、現場臨場
- ・現地指揮所および現地調整所の設置
- ・警戒区域の設置
- ・救護所、トリアージ・ポストの設置
- ・原因物資の検知
- ・消防、自衛隊による救助および除染活動
- ・消防・医療機関によるトリアージ実施
- ・負傷者の搬送

※トリアージ…傷病者の重症度・緊急度を考慮して、救出・治療・搬送の優先順位を決めること。

◎避難誘導訓練では、避難誘導員の指示のもと、地域住民が徒歩で一次集合場所に参集した後、琴浦町に開設した避難所へバス・鉄道により輸送します。

◎緊急対処訓練「東巖城町河川敷スポーツ広場ほか」  
訓練では、自衛隊、警察、消防などの防災関係機関および医療機関により、現場指揮所、現場調整所、救護所が開設され、実践さながらの訓練が展開されます。ぜひご見学ください。

※お願い  
訓練当日は、上灘地区全域成徳地区全域に防災行政無線で警報を発令して避難指示を行いますがあくまで訓練です。ご容赦いただきますようお願いいたします。

・訓練前日および当日は、市内上空をヘリコプターが飛行するため、騒音により迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

・緊急対処訓練会場に駐車場はありません。ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

## 《旧牧田家住宅保存修理完成式と一般公開》

市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

※問合せ先：文化財課(☎22-4419/☎22-2303)



### 2008 住まい・職人の技 in くらよし

大工・左官・板金・建具・畳・石工など熟練された職人の技と木造住宅の魅力を、復元された旧牧田家住宅で体験してください。

と き：11月22日(土)午後1時～24日(月)午後3時

と ころ：旧牧田家住宅主屋

オープニング：古式完成式(もちまき)

体験型イベント：伝統工法家づくり体験・木工教室・銅板ヘラ出し(彫金アート)体験・石工実演・組子実演・畳表替え実演・親子木工教室・左官鏝絵実演

展示イベント：木造軸組み実物大模型、継手・仕口模型・鐘楼模型・木製建具展示

住まいの相談室：住宅の欠陥・トラブル、住宅の耐震や新築相談などあらゆる疑問や悩みに建築士が対応します。

主 催：「住まい・職人の技 in くらよし」実行委員会

昨年10月から進めてきた市指定有形文化財の旧牧田家住宅主屋の保存修理工事が10月31日(金)で完成しました。旧牧田家住宅は倉吉でも古い宝暦10年(1760年)の町屋建物であり、大坂の豪商「淀屋」と関わる建物です。平成18年、建物・土地所有者のご理解により、倉吉市所有となり、平成19年度から「まちづくり交付金」事業により、屋根瓦葺替・雨漏りでの腐食部分・基礎石の補強と構造材の修理・後世の改変部分の撤去など一般見学が可能な最低限の保存修理工事を実施してきました。伝統工法を駆使した保存修理工事により、往時をしのげる江戸期の町屋が復元されました。

ついでには保存修理完成記念行事と、建物の一般公開を行います。

と き：11月22日(土)午前10時～11時  
と ころ：旧牧田家住宅(東岩倉町)

参加料：無料  
※同時開催：「住まい・職人の技 in くらよし」・「淀屋サミット」

▲旧牧田家住宅周辺地図